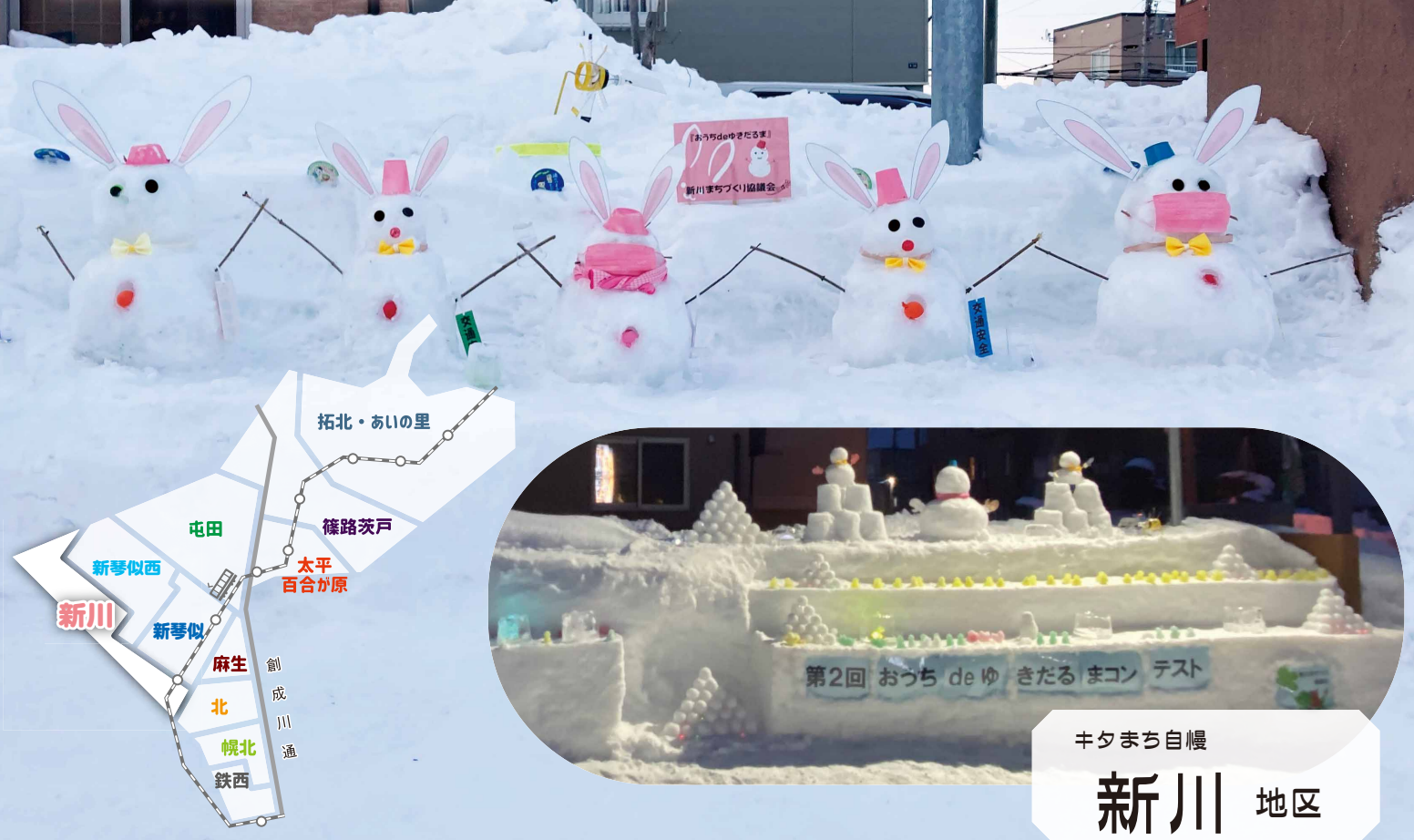




キタまち自慢

新川 地区

で おうち de ゆきだるまコンテスト

毎年2月に開催される「おうち de ゆきだるまコンテスト」。地域の方が家で雪だるまや雪像を作り、写真に撮って応募するコンテストです。寒い冬の季節にも外で楽しんでもらおうと、令和5年に始めました。応募写真は、新川地区会館に展示されます。個性あふれる雪だるまが町を飾り、作る人も道行く人も楽しめるイベントです。

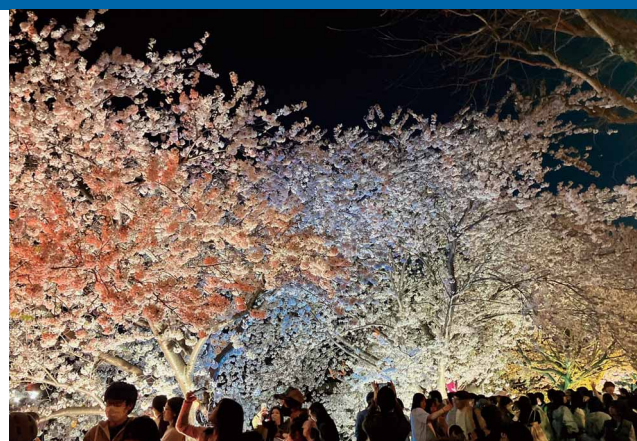
【問い合わせ】新川まちづくりセンター（TEL 762-2604）



△おうち de ゆきだるま
コンテストの詳細はこちら

ぽっぴいクイズ♪

地名の由来となった河川「新川^て」。この川には新川さくら並木橋や天狗橋などいろんな名前の橋があるよ。全部で何本あるか知ってる？



新川さくら並木は、平成10年から3年間かけて地域住民の手により植樹されました。この並木の一部をライトアップした「新川夜ざくら」が毎年春に開催されます。満開の桜がカラフルな光で彩られ、人々を魅了しています。

【北区役所】〒001-8612 北区北24西6 （代表）☎757-2400 北区HP「みてきて北区」：<https://www.city.sapporo.jp/kitaku/>

編集：北区市民部総務企画課広聴係 ☎757-2503 FAX757-2401 Eメール：ki.somu@city.sapporo.jp

■北区の人口と世帯数（2025年1月1日現在（前月比）） 人口／287,872人（－179） 世帯数／143,854世帯（－108）



「ちあふる・きた」に



～小学生記者が

取材しました!～

行ってみよう!



鈴木 記者

4人の小学生記者が、北区保育・子育て支援センター「ちあふる・きた」で地域の子育て支援の現場取材しました。

子どもたちの目線で見た「ちあふる・きた」の魅力とは?

成田 記者

西田 記者

山田 記者



「ちあふる・きた」ってどんなところ?



取材を受けてくれた

藤井 職員

田伏 係長

「ちあふる・きた」は、札幌市が運営する保育と子育て支援の両方の役割を持った施設です。0歳から就学前のお子さんと保護者、これから親になる方などが自由に集まって、交流できるんだよ。

住所 北25条西3丁目3番3号
(幌北団地2号棟1階、2階)

電話 757-5380(代表)
757-5381(子育て支援)



保育



▲保育所の様子

認可保育所や幼稚園などに入っていない子どもを預かってくれる一時預かりはママパパの味方だね。

公立の保育所として利用できるよ。それに、特別保育や一時預かりなどのサービスもあるんだ。



子育て支援



▲親子の触れ合いの様子

子どもを預けられる場所や子育てサロン、遊び場などを紹介するよ。子どもとどうやって遊ぶかや、どう関わるか、育児の悩みなど、いろんな相談もできるんだ。



▲「こあら部屋」の絵本コーナー

1階にある常設子育てサロン「こあら部屋」では、絵本や育児書を読んだり、借りたりすることもできるよ。

ごはんの食べさせ方や睡眠、トイレに関する相談が多いんだって!



子育ての疑問や不安を一緒に解決しましょう!



I 階 常設子育てサロン

「こあらの部屋」は魅力がいっぱい!

イベントは
広報さっぽろやHPで随時
紹介しているよ!

次のページを
チェック!

ちあふる・きた
キャラクター
ぼぼるん

親子で自由に遊べる場所があって、他の親子とも友だちになれるよ!
保育士さんやボランティアさんもいて、子育てについての講座や絵本の
読み聞かせなど、いろんなイベントもあるんだ。

いろんな
コーナーがあって、
子どもも飽きないね!

車や列車のおもちゃで
元気いっぱい遊んでいます!

小学生記者も
読み聞かせに挑戦!



赤ちゃん向けの
おもちゃもたくさん!

子育ての
仲間ができるって、
心強いね!

利用者インタビュー

保育士さんたちがみんな優しく、いろんなアドバイスをくれますし、他の親子と子育ての情報共有ができることが魅力的です。また、スペースが広く、危ないものもないので、思いっきり子どもを遊ばせながら、自分もホッと一息つけますね。

編集後記



成田記者

施設を見学したり、インタビューを通して、「ちあふる・きた」が大好きな親子と触れ合えて楽しかったです。

山田記者

優しい職員さんやかわいい子どもたちとお話できてうれしかったです。絵本の読み聞かせは緊張しました。

西田記者

私たちの作ったページを見て「ちあふる・きた」の魅力や広報さっぽろのことが知ってほしいです。

鈴木記者

カメラで写真を撮ったり、取材をしたりと貴重な経験ができました。

読者アンケート

小学生記者が作成したこのページへのご意見・感想などを募集します!
アンケートに答えてくれた方の中から抽選で
5名様に「ぼっぴいオリジナル^{クオ}カード」1,000円分をプレゼント!

応募方法

右記コードから応募フォーム(<https://www.city.sapporo.jp/kitaku/goiken/202502.html>)にて。
2月28日(金)締め切り。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



前ページで紹介した

ちあふる・きたのイベント

子育て
サロン

サンデーサロン

申込不要

と き 毎月第3日曜日 10時～12時
次回は**2月16日(日)**
対 象 就学前の子どもと保護者
これから親になる方
問い合わせ ちあふる・きた TEL 757-5381



子育て
講座

親子で楽しむリトミック

要申込

親子で音楽に合わせ、体を動かして楽しみましょう。

と き 2月26日(水) 10時～11時
対 象 1歳6カ月～3歳未満の子どもと保護者
これから親になる方
定 員 先着15組程度
申込期間 2月12日(水)～25日(火)



その他の子育てサロン

北区には、他にも子育てサロンがたくさんあります。ほんの一部をご紹介します！

▶ ふちひろば

と き 月・火・水・金・土曜日 10時～15時
ところ 麻生町6丁目14-6 高橋ビル2階
問い合わせ NPO法人子育て支援ワーカーズ
「プチトマト」TEL 080-2870-9735

▶ コロコロひろば

と き 第1・3・4月曜日 10時～15時
ところ 新琴似1条7丁目1-14 地域交流拠点ピリカ
問い合わせ ワーカーズコープ・センター事業団 TEL 792-5524

お近くのサロンはさっぽろ子育て
情報サイトで探せます！▶



子育て
講座

イヤイヤ期の知恵袋

要申込

イヤイヤ期って何？ この時期のお子さんとの関わり
方のヒントを保育士がお伝えします。

と き 3月5日(水) 10時30分～11時15分
対 象 就学前の子どもと保護者、これから親になる方
定 員 先着8組程度
申込期間 2月19日(水)～3月4日(火)

子育て講座の申込・問い合わせ

健康・子ども課子育て支援担当係へ、電話またはファクスにて。
TEL 757-2566 FAX 756-0874 (受付9時～17時)

ファクスの場合は、講座名、保護者と子どもの氏名(ふりがな)、
子どもの月齢、電話番号を記入してください。

4カ月児健診時に木製玩具 (KITAKU SMILE TOYS act. 木々-KI*KI-) を配布しています



「ようこそ北区に。」北区に生まれ
てくれた子どもたちに歓迎と
感謝の思いを届けようと、昨年4
月にスタートした「KITAKU SMILE

TOYS act. 木々-KI * KI-」。北保健センターで4
カ月児健診を受けたお父さまへ、北区オリジナ
ルの木のおもちゃをプレゼントしています。



配布休止期間(令和6年5月21日(火)～12月24日(火))に

北保健センターで4カ月児健診を受診された方へ

お手数ですが、右記コードからお申し込み
ください。ご自宅へ配送いたします(2カ
月程度かかる場合があります)。



地域振興課まちづくり調整担当係 TEL 757-2407

広告



保健センターからのお知らせ

① 胃がん・大腸がん・肺がん検診【3種類同時可】

と き 3月14日(金)9時～11時
ところ 北保健センター1階(北25西6)

種類	対象	定員	料金
胃がん (バリウム)	50歳以上で 偶数歳の方※1	先着25人	1,100円
大腸がん (検便)	40歳以上の方	先着40人	400円
肺がん (胸部エックス線)		なし	無料※2

申 込 3月6日(木)までに、健やか推進係へ電話またはファクス(住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望する検診の種類・日付を記入)。肺がん検診のみの場合は申込不要。

※1 50歳以上で奇数歳の方は、直前の偶数歳のときに札幌市胃がん検診を受診していなければ対象です。

※2 医師の判断で喀痰検査を行った場合は400円です。
▷70歳以上の方、65～69歳で後期高齢者医療制度に加入の方、生活保護世帯の方、市・道民税非課税世帯に属する方、支援給付世帯の方は費用が免除されます。保険証や生活保護受給証明書、課税証明書、本人確認証などの証明できる書類をお持ちください。

② 市民健康教育講座

肺炎が気になるなら、口とのをきたえましょう！

北海道医療大学 摂食機能療法学分野の飯田 貴俊教授が、咀嚼、嚥下、口腔フレイルについて解説します。

と き 2月19日(水)14時～15時(受付13時30分)

ところ 北保健センター2階講堂(北25西6)

対象・定員 北区にお住まいの方 先着30人

申 込 2月13日(木)8時～17日(月)に、右記コードよりwebサイトにて。または札幌市コールセンター(TEL 222-4894 8時～21時)に電話



③ 冬のノルディックウォーキング講座

～歩く仲間を作る会～

ポールを使って歩く「ノルディックウォーキング」を行います。ポールは貸し出しますので、初めてでも安心。基本動作の後は、北大周辺を約2km歩きます(荒天中止)。

と き 2月27日(木)9時45分～11時45分(受付9時30分)

ところ 鉄西会館2階集会室(北10西4)

対象・定員 北区で健康づくり活動ができる方 先着20人

申 込 2月12日(水)～20日(木)に、健やか推進係へ電話
持ち物等 飲み物、タオル、歩きやすい服装と靴。両手が使えるように、リュック等でお越しください。

以上①～③について

健康・子ども課健やか推進係 TEL 757-1181 FAX 757-1187

情報プラザ



2月11日(火・祝)

～3月10日(月)

1月号KITA4ページ 選挙クイズの答え

①ウ(参議院議員) ②ア(25歳・30歳)
正解者多数のため抽選の上、10人の方にQUOカードをお送りします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。たくさんのご応募ありがとうございました！

北区明るい選挙推進委員会 TEL 757-2404
北区選挙管理委員会事務局

北区民応援デー！

無料 レバンガ北海道公式戦試合ご招待！

北区はレバンガ北海道と「北区の魅力あるまちづくり推進に係る連携協定」を締結しています。今回の「北区民応援デー」は、ぼっぴいも応援に行くよ！

レバンガ北海道マスコット
キャラクター「レバード」
©LEVANGA HOKKAIDO



と き 3月5日(水)19時5分～ vs 越谷アルファーズ

ところ 北海きたえーる(豊平区豊平5-11)

対象 北区にお住まいの方

定員 400人(1回につき4人まで応募可)。多数時抽選

申 込 2月14日(金)までにスマホにて下記コードからレバンガ北海道公式LINEアカウントを友達登録した後、LINEメッセージに届くURL(応募フォーム)にて必要事項を入力。

▷当選者にのみ、2月17日(月)～21日(金)にLINEで連絡します。チケットの取得にはBリーグチケットサイトの会員登録が必要です。



地域振興課地域活動担当係 TEL 757-2407

国民健康保険料 夜間納付相談

失業や休廃業などにより大幅に収入が減少し、保険料の納付が困難な方を対象に夜間納付相談を実施します。

と き 2月27日(木)17時15分～19時30分

ところ 北区役所1階①番窓口(北24西6)
北玄関(休日夜間通用口)をご利用ください。

必要書類 資格確認書(保険証)、令和6年中の収入が分かる書類(確定申告書や源泉徴収票など)、記帳済の通帳(直近3カ月の取引履歴が分かるもの)、印鑑

※区役所の駐車場は利用できませんので、札幌サンプラザの駐車場をご利用ください。窓口での認証で最大2時間まで無料となります。

保険年金課収納一・二係 TEL 757-2493 FAX 736-5376



毎月、地域でおもしろいことをしている
北区の団体や人に会いに行くよ！
2月はどんな出会いがあるかなあ？



新川地区交通安全協議会

同協議会は、平成25年に結成され今年で13年
目を迎えます。今回は副会長の佐藤 昭さん^{さとう あきひろ}に
お話を伺いました。

—どのような活動をしていますか？

「新川中央防犯パトロール」と称
して、夏季は毎日17時頃から地域の
公園を回り、子どもたちの見守りや
暗くなる前の帰宅を促しています。

また年4回、地区内3カ所で交通
安全の街頭啓発と車に赤色灯をつけ
て注意を促す「パトライト作戦」を
行い、安全運転を呼びかけています。



登下校時の見守り

—どのような団体ですか？

連合町内会や単位町内会、交通安
全指導員、札幌北交通安全協会、北
海道交通安全母の会で組織されてい
ます。交通安全に関する取り組みを
行っている団体はいろいろとありま
すが、各団体がバラバラに活動する
のではなく、地域一体となって交通
安全に取り組みうと結成しました。



街頭啓発



新川幼稚園との共同街頭啓発

子どもたちへの交通安全指導にも
力を入れており、新川幼稚園の園児
たちと共同で街頭啓発をしたり、地
域の小学校では自転車の乗り方講習
を開催しています。

また、地区外での活動も行ってお

り、最近では北24条通や札幌駅北口
での街頭啓発にも参加しました。

—地域一体となって活動して良かったことは？

街頭啓発の際には多い時で50〜60
人が参加してくれます。大勢で交通
安全を呼びかけることで、道行く人
の意識もより高まると感じます。

また、登下校時の旗振りには、近
所の方が応援に駆けつけてくれるの
で、多くの目で子どもたちを見守れ
る安心感もあります。

—活動していて感じることは？

見守りや旗振りは体調や天候に関
わらず毎日行うので、年を取ると大
変になってきます。それでも地域の
方とあいさつを交わしたり、子ども
たちの元気な姿を見送ると、続けて
いて良かったと感じます。

これからは若い人たちもどんどん
活動に参加してくれるとうれしいで
す。



佐藤さん

【問い合わせ】

新川地区交通安全協議会
TEL 762-2604

広告

